



令和7年度（2025年度）

豊島区 当初予算案プレス発表

令和7年2月4日



令和7年度 予算案の概要

令和7年度予算案の特徴	03
令和7年度予算編成方針	04
区民の思いを予算案へ～区民による事業提案制度～	06
令和7年度予算案の規模	07
令和7年度予算案の経費別構成	08
令和7年度新規・拡充事業の分野別構成	09

令和7年度 予算案の柱

1 地域と共に支えあう安全・安心なまち	11
2 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち	18
3 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	29
4 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち	31
5 活気とにぎわいを生みだす産業と観光のまち	33
6 共につくる地球にも人にもやさしいまち	35
7 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち	37
デジタル化促進	41



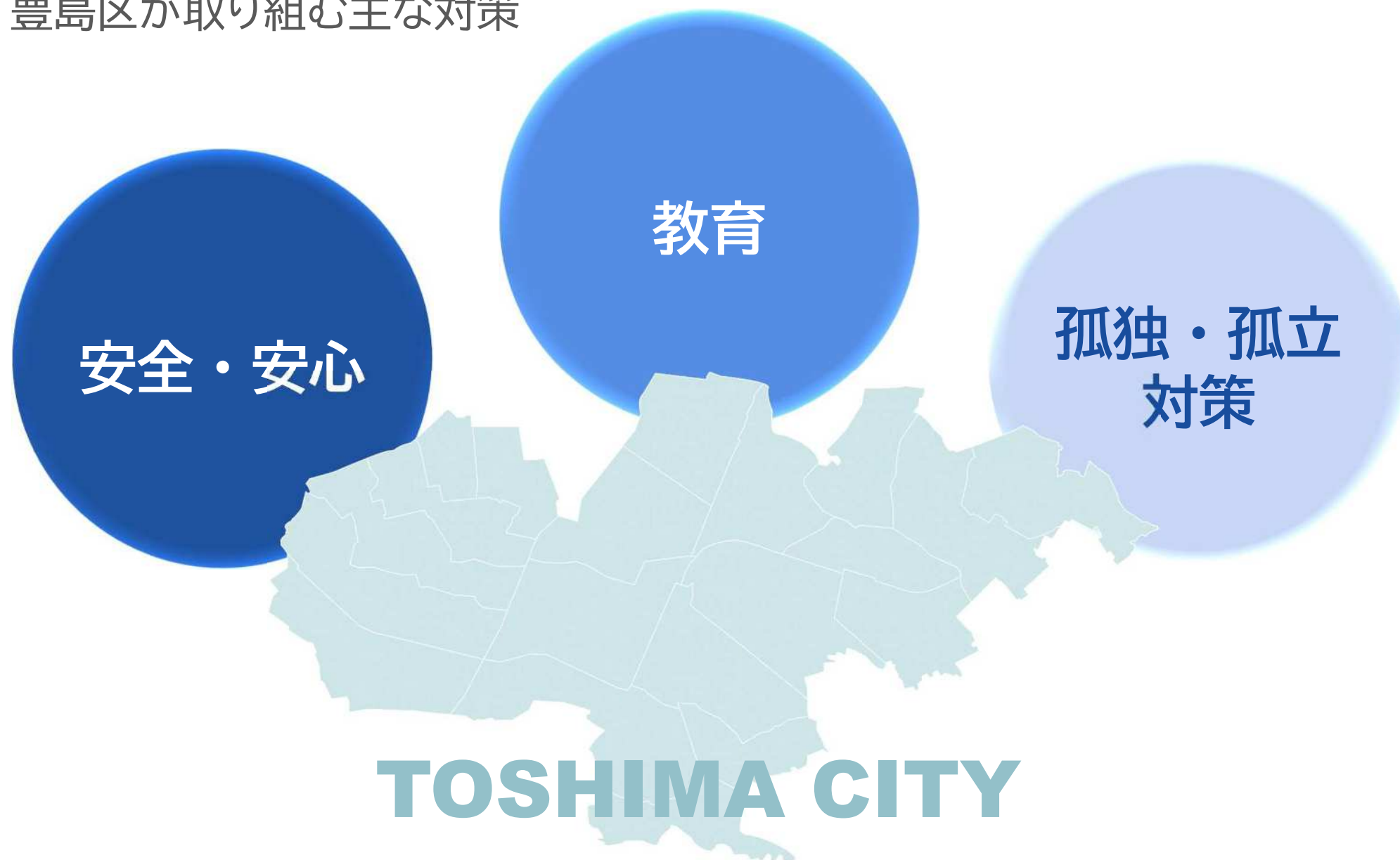
令和7年度予算案の概要



新たな基本構想・基本計画の実現に向け 第一歩を踏み出す予算

一般会計の総額 **1,705億9千3百万円**
(対前年度比 +176億5千8百万円)

豊島区が取り組む主な対策



新たな基本構想・基本計画

3つの理念

誰もが
いつでも主役

みんなが
つながる

出会いと笑顔が
咲きほこる、憧れのまち

7つのまちづくりの方向性





6件の提案を
5つの事業に再編成

区民の思いを予算案へ



災害に強い地域づくり

- ◆ デジタルサイネージを活用した災害時の情報発信
- ◆ 防災を楽しく学ぶ体験型イベント



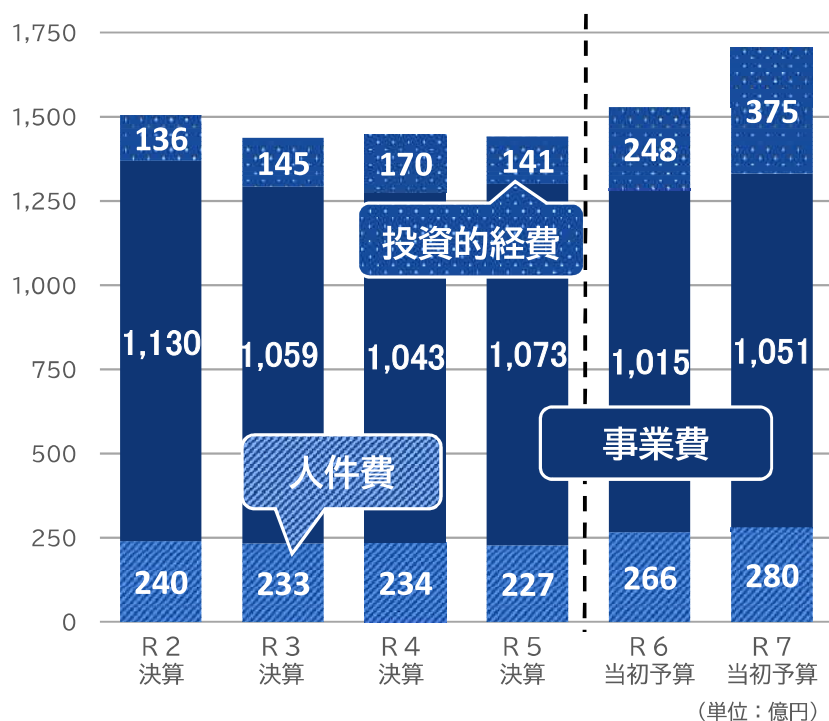
人にやさしい デジタル化社会の推進

- ◆ 町会活動のデジタル化促進
- ◆ 保育園の連絡手段のオンライン化
- ◆ LINEを活用したオンライン申請等プラットフォームの導入

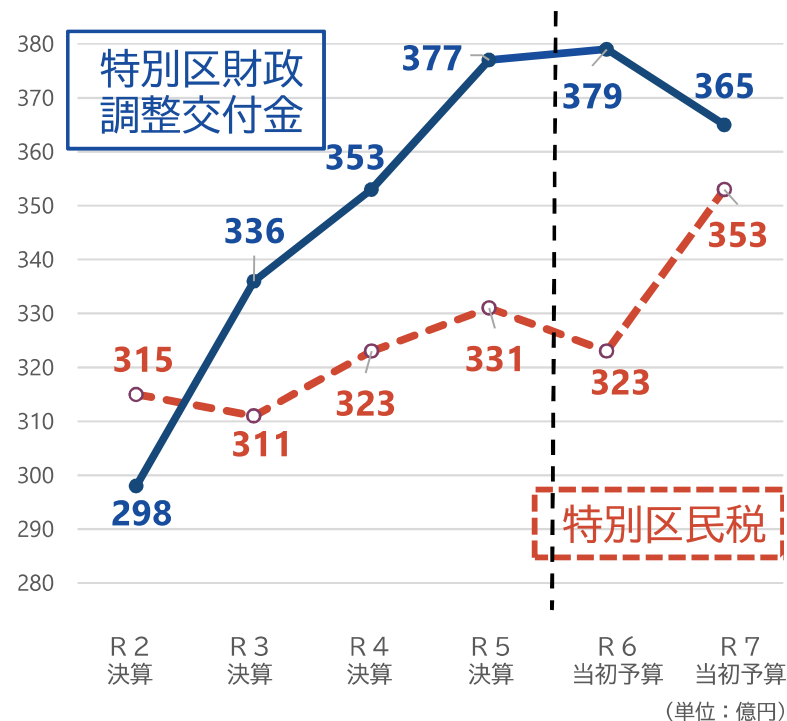
一般会計当初予算 **1,705億9千3百万円**

(対前年度比 176億5千8百万円 11.5%増)

歳出（経費別）の状況

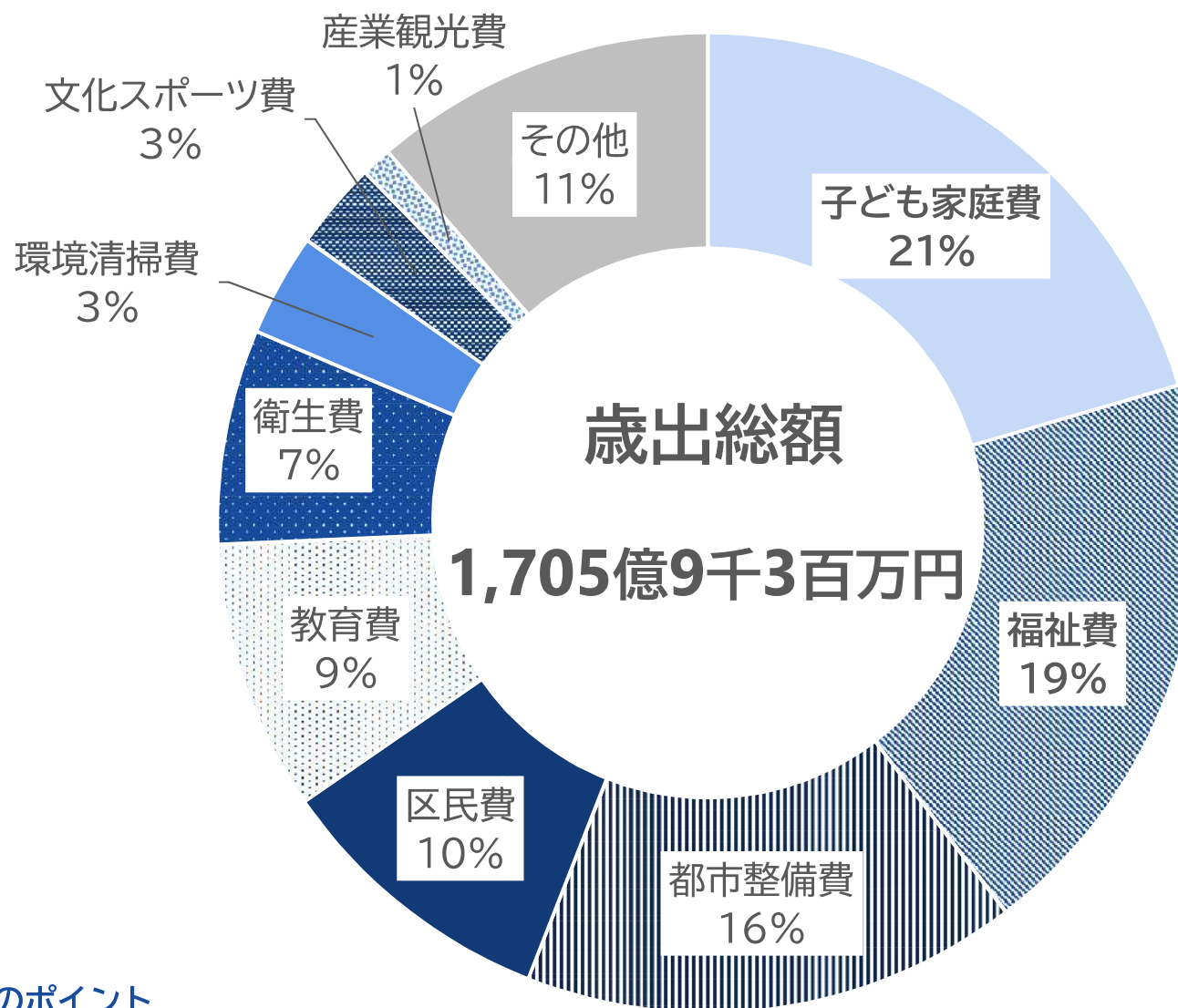


主要な一般財源歳入の状況



◆ 予算のポイント

- ・ 当初予算額は、対前年度比11.5%増となる約1,706億円
- ・ 投資的経費は、池袋の都市再生や池袋保健所移転のため、対前年度比127億円増の375億円を計上
- ・ 特別区民税は、対前年度比30億円増となる353億円を計上

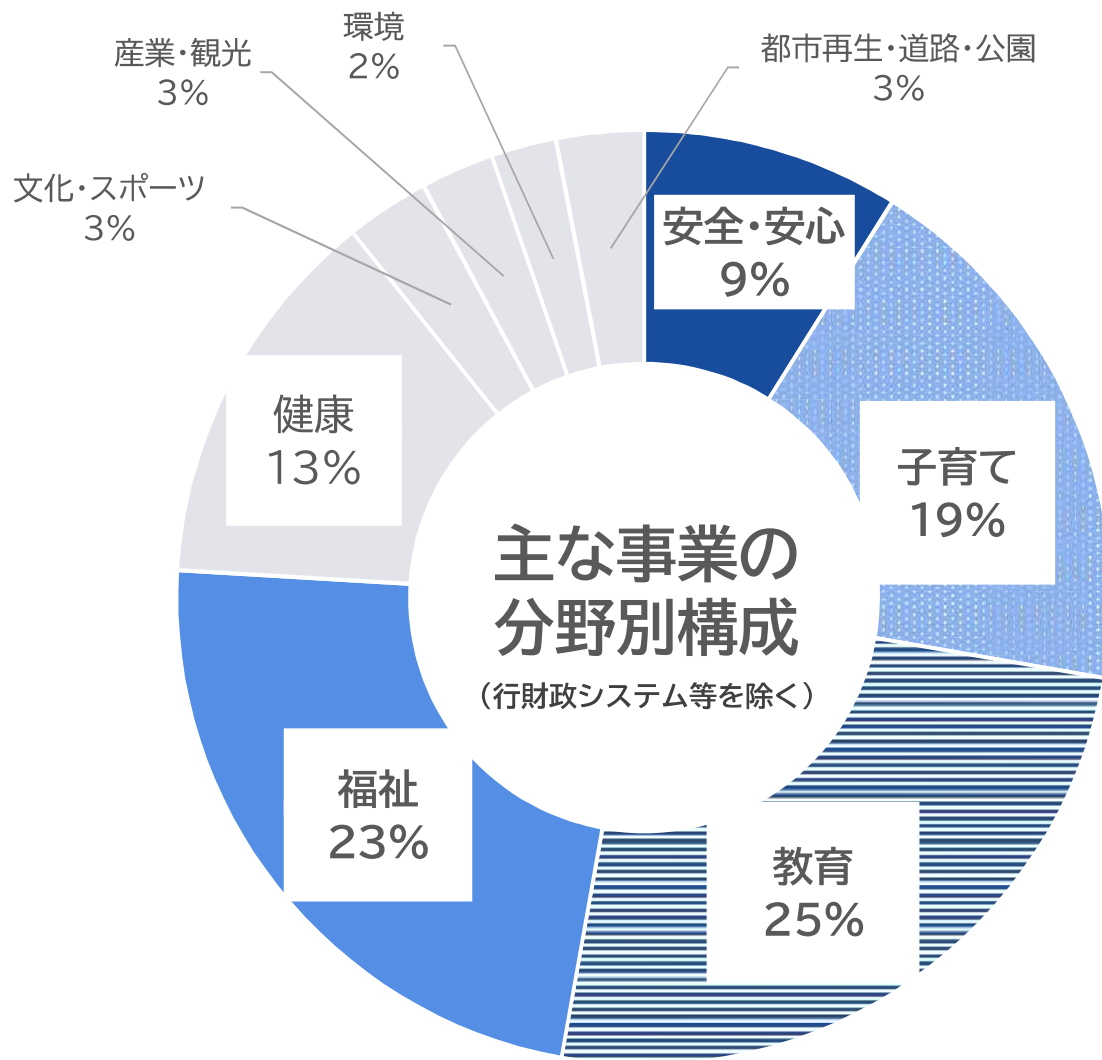


◆ 経費別構成のポイント

- ・ 構成比は、子ども家庭費の21%、福祉費の19%で歳出全体の4割

新規・拡充事業 (投資的経費除く)

63億7千2百万円 / 190事業



◆特徴

- ・新規・拡充事業は安全・安心、教育、子ども・若者の孤独・孤立対策、住宅施策等に重点
- ・安全・安心の分野では、前年度比1.4倍となる約3億5千万円を計上



令和7年度予算案の柱

※ 次ページ以降
予算額は千円未満四捨五入



女性の声を
活かす

◆ 女性の視点による
救援センターの環境改善

新規

3,125万円

女性の視点PTメンバーからの要望により下着を衛生的に保つためのおりものシートや保湿クリーム等、避難者の健康を守るための備蓄品を購入し、救援センターの環境改善を図ります。



災害即応体制
を確立

◆ 救援センター等備蓄物資の拡充

2億5,771万円

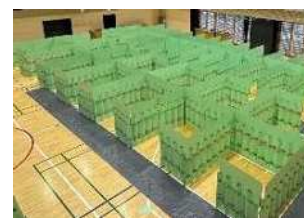
災害時、避難者の生命身体に関わるとされる備蓄物資の充実を図るとともに、備蓄物資を適正に管理するために備蓄倉庫の管理を委託し、災害即応体制を確立します。

女性の声を活かして改善！

備蓄物資の充実を図る

おりものシート	保湿クリーム
からだふきシート	使い捨てカイロ
防犯用ホイッスル	尿漏れパッド
蓄電池	ゴミ袋
携帯用充電器・コード	洗濯ばさみ・物干しラック

救援センターの環境改善



移行

プライバシーを守る！
テント・エアベッドの整備



福祉救援センター

特別な設備が必要な方のための資器材（簡易トイレ、たん吸引機、乳幼児肌着など）の備蓄を充実

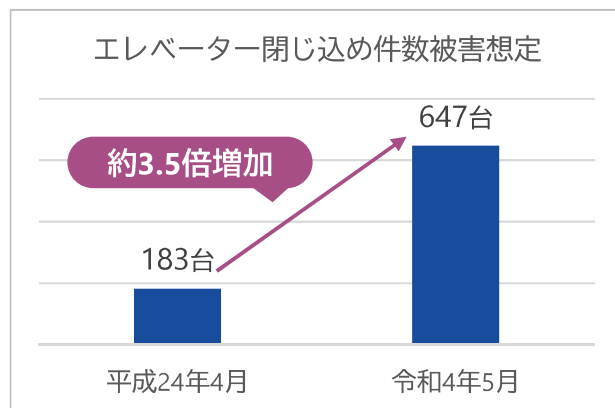
1 地域と共に支えあう安全・安心なまち エレベーターの閉じ込め対策

安全確保

◆ 区有施設エレベーターへの
防災キャビネット設置 **新規**
334万円

区有施設エレベーターに防災キャビネットを設置します。
災害時は、エレベーターに閉じ込められた利用者の安全確保を、平常時は防災キャビネットの普及啓発を図ります。

首都直下地震等による東京の被害想定報告書による比較



閉じ込められた方が健康状態を損なうことなく、
救助を待つことができる環境づくりに取り組む

46施設・計71台を
3か年計画で実施

防災キャビネット



※イメージ



備蓄物資一式

保存水・非常食・簡易トイレ等



トイレ機能

トイレシート、消臭剤、目隠しシート、
トイレットペーパーも収納

令和6年度時点
本庁舎内に9台設置済

令和7年度実施

東池袋分庁舎、豊島体育館
区立芸術文化劇場など
8施設に23台を設置

設置場所の優先順位

- 利用者が多い施設
- 介護施設、福祉施設

1 地域と共に支えあう安全・安心なまち 災害時の避難者・要援護者への支援強化

◆ 防災士資格取得助成の拡充による救援センターの強化 80万円

防災士資格取得助成者を現状の35名から70名に拡充し、各救援センターの配置を1名から2名に増やします。
災害時に区職員と町会とともに救援センターの開設・運営をサポートする防災リーダーを養成し、地域防災力の向上を図ります。

◆ 家具転倒防止器具購入及び設置助成 150万円 新規

地震による家具類の転倒・落下・移動の発生を最小限に抑えるため、災害時に特に支援が必要となる高齢者や身体障害者などの器具設置等が困難な方に対して、家具転倒防止器具の購入及び設置に要した費用の助成を行います。

対象者

- ▶ 65歳以上で構成される高齢者世帯
- ▶ 介護保険の要介護3～5の方がいる世帯
- ▶ 愛の手帳の交付を受けている方がいる世帯
- ▶ 身体障害者手帳の交付を受けている方がいる世帯



助成対象器具

- ・ つっぱり棒
- ・ ベルト式・L字型金具
- ・ 転倒防止板
- ・ ガラス飛散防止フィルム



助成額

1世帯あたり最大 **15,000円**

◆ 人と動物の共生 650万円

ペットの災害対策の強化、犬猫の譲渡を目的とした保護活動をしている団体への助成、飼い主のいない猫対策の3事業を行います。

PICK UP!

ペットの災害対策の強化

災害時に動物避難所の開設・運営がスムーズにできるようにペット同行避難訓練を年2回実施します。
また、区内全ての救援センター（35か所）で、ペットの屋内避難が可能であることを、動画やイベント等で周知・啓発を行い、ペットの災害対策を強化します。



動物避難所開設BOX



令和6年12月1日 目白小学校でのペット同行避難訓練の様子

1 地域と共に支えあう安全・安心なまち 情報発信強化と防災を学ぶ機会の創出

区民
提案

◆ デジタルサイネージを活用した 災害時の情報発信

新規

39万円

デジタルサイネージ改修経費	池袋西口公園野外劇場 としま区民センター等	874万円 1,509万円
---------------	--------------------------	------------------

池袋西口公園・グローバルリングと、としま区民センターの公設のサイネージを活用し、発災時に池袋駅周辺に滞在する多くの帰宅困難者に対して、情報発信を行います。

池袋駅周辺で想定される
帰宅困難者数

26,147人



帰宅困難者対策訓練の様子

令和7年度

- ✓ 災害時の迅速なデータ投影のため、サイネージ管理システムを改修
- ✓ 発災後の時間経過に合わせた発信や多言語対応のための運用ルールを整備し、情報発信端末を準備！

令和8年度

- ✓ 区有施設のサイネージやビジョンでの情報発信を開始！
- ✓ 民間所有サイネージ等の活用の実現化



区民
提案

◆ 防災を楽しく学ぶ体験型イベント

新規

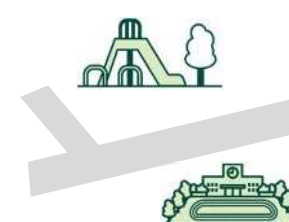
350万円

例年10月に開催している防災フェス等にて、子どもたちと遊べるようなスポーツ等と防災の内容を取り入れた体験型イベントや自宅から避難所までの防災マップの作り方体験を取り入れ、防災は「難しい」「堅苦しい」というイメージから、「楽しい」「面白い」など、遊びながら自然と防災について学ぶことができる機会を提供します。

防災遊び
イベント



歩いて作る
防災マップ



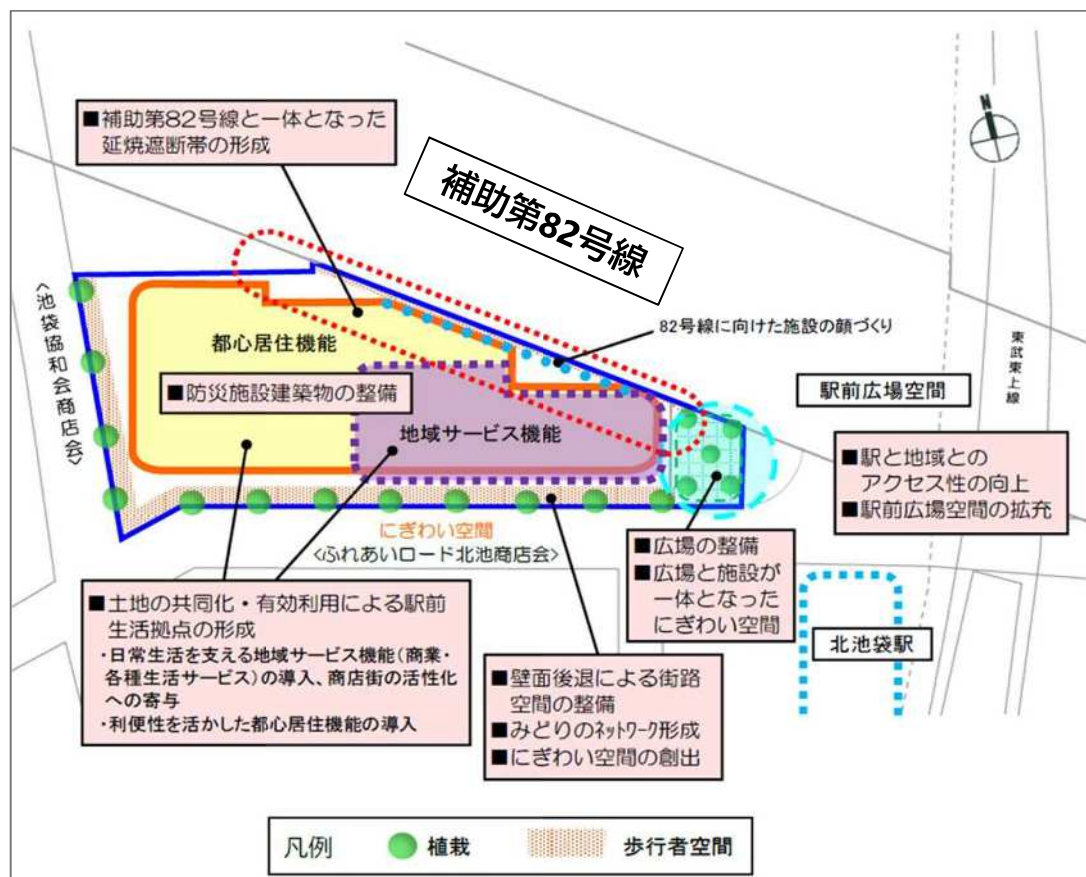
各町会や学校等での活用ができるように
動画によるマニュアル作成や防災地図を提供！

1 地域と共に支えあう安全・安心なまち 池袋本町四丁目地区の不燃化促進

◆ 防災街区整備事業（池袋本町四丁目1・2番街区） 6,574万円

東京都施行の特定整備路線の整備（都市計画道路補助82号線）に併せて、東武東上線北池袋駅前の池袋本町四丁目1・2番地区における木造住宅密集地域の不燃化を促進するため、組合施行による防災街区整備事業の事業費の一部を補助します。

整備方針図



現状



完成イメージパース



スケジュール

- 令和6年12月 都市計画決定の告示
- 令和7年7月 事業計画認可・組合設立認可(予定)
- 令和8年7月 新築工事 着工(予定)
- 令和10年3月 竣工・引き渡し(予定)

新たなひろば構想

(豊島区地域区民ひろば構想)

特色ある区民ひろばの創造

学生、現役世代を中心とした

新たな利用者の拡大

誰もが気軽に利用でき、

多様な主体が参加・交流



特色ってどんなもの？

新たな3つの取組を開始

子どもは豊島区の宝

子どもが
生き生きと
過ごせる
ひろば

地域とつなぐ
地域がつながる

1
地域で
支え合う
ひろば

誰もが来て
ふらっと入れる

3
コミュニティ
カフェ

モデル事業

◆ 地域区民ひろば
コミュニティカフェの運営 300万円

新規

2か所の区民ひろばにおいて、地域コミュニティの
拠点としてコミュニティカフェの運営を行います。



区民ひろばごとの特色を地域の皆様と検討し
エリアで連携する多彩なパターンを創出

1 地域と共に支えあう安全・安心なまち 地域における活動・交流拠点の充実

区民
提案

◆ 町会活動のデジタル化促進 1,493万円

町会活動のデジタル化を促進するため、町会の課題や希望を把握し、デジタル化の伴走支援を行います。また、町会間での交流ができるよう、情報交換プラットフォームを立ち上げます。



課題

町会への加入率の低下、役員の高齢化、次世代の後継者不足 など

町会活動をDX化！

町会LINE
公式アカウントの導入

掲示板や
回覧板の電子化で
事務効率UP！



町会ホームページ作成

作成後の運営や
更新方法もサポート



情報交換プラット
フォームの立ち上げ

次世代役員間の
ツールとして活用



2 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち 子どもが安心して過ごせる環境づくり

全小学校で
実施！

◆ 朝と帰宅時の見守りの全校実施
1,925万円

新規

令和7年1月より駒込小学校・清和小学校で試行実施を行っている「朝と帰宅時の児童の見守り」を、すべての区立小学校で本格実施します。

令和7年4月10日（入学式翌日）から実施！

朝の見守り
おはようクラス

夕方の見送り
おかえりサポート

対象者	当該小学校に通う新小学1年生のうち、学童クラブ登録者かつ長期休暇中の早朝利用申請している児童	おもに 学童クラブ登録者 (学年は問わない)
時間	平日 7時45分から登校時間まで	平日 16時から18時の間 ※新年度当初時期及び秋冬を中心に実施
場所・方法	学校用務員が子どもスキップまたは校舎内で見守る	シルバー人材センター会員が 暗い道や交通量の多い通学路を 安全な地点まで見送る



おはようクラス

登校時間までの間、
本を読むなど静かに
過ごしています



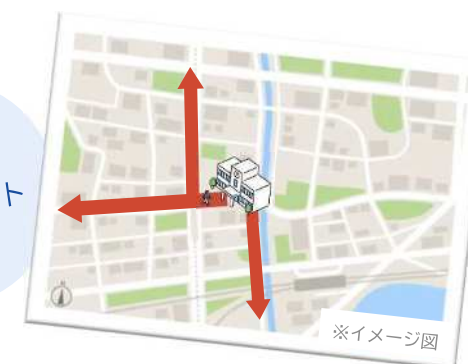
おかえりサポート

子どもの声

“通学路が暗くて怖かったから、
一緒に帰ってくれてうれしい！”



学校別に
見送りルート
を設定



※イメージ図

働く保護者の「小1の壁」の負担を軽減
➡仕事と子育ての両立を支援！

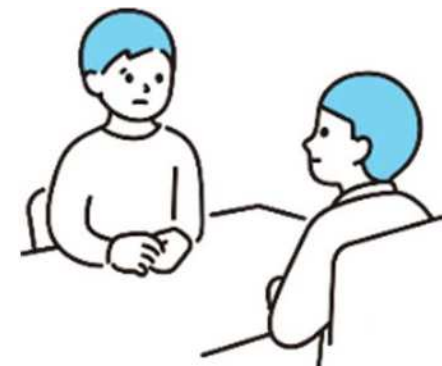
不登校対策の状況

過去5年間で **2** 倍超

- ➡増加する不登校児童生徒への社会的自立や学校復帰へ向けた**多方面からの支援**が必要に
- ➡ひとりひとりの状況に即した**より細やかな支援**が求められる

令和6年度に実施した不登校対策

- 適応指導教室の環境整備
- バーチャルラーニングプラットフォームの活用
- スクールソーシャルワーカーの全中学校区への配置



令和7年度は不登校対策について、更に支援を強化します！！

2 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち 子どもが安心して過ごせる環境づくり

さらなる
充実

◆ 不登校対策の強化

6,581万円

増加する不登校児童生徒の社会的自立や学校復帰への支援強化のため、多方面から支援します！

1 全中学校への「不登校対策支援員」の配置

現在未配置の5校にも不登校対策支援員を配置し、校内別室であれば登校できる生徒を支援します。

3校

8校

支援
内容

- ・学習及び自立支援
- ・悩み相談
- ・家庭との連絡 など



特別支援教育も体制強化！

特別支援教育指導員 20名 ▶ 24名

学級運営補助員 46名 ▶ 48名

人員を増やし
手厚いサポートを！

2 チャレンジクラス（登校支援学級）「スリジエ」の開設

新規

区立西池袋中学校に通常の学級とは別の教室を設け、学び直し等「学校に行きたい、学びたい」気持ちを大切に支援します。



令和7年4月にスリジエを開設する
西池袋中学校

「スリジエ」入級対象生徒

- ・令和7年度中学1年生～3年生
- ・学校に通うことができない区内在住（国立私立含む）の中学生

支援
内容

- ・学習状況に応じた指導
- ・通常学級との交流 など

3 「不登校対策スーパーバイザー」の新設

新規

「不登校対策スーパーバイザー」が全校を巡回し、不登校対応のさらなる充実を図ります。

支援
内容

- ・教職員への指導・助言
- ・保護者を対象とした講演会等の実施
- ・区立小中学校全校の不登校対応 など



4 「不登校対応巡回教員」の配置

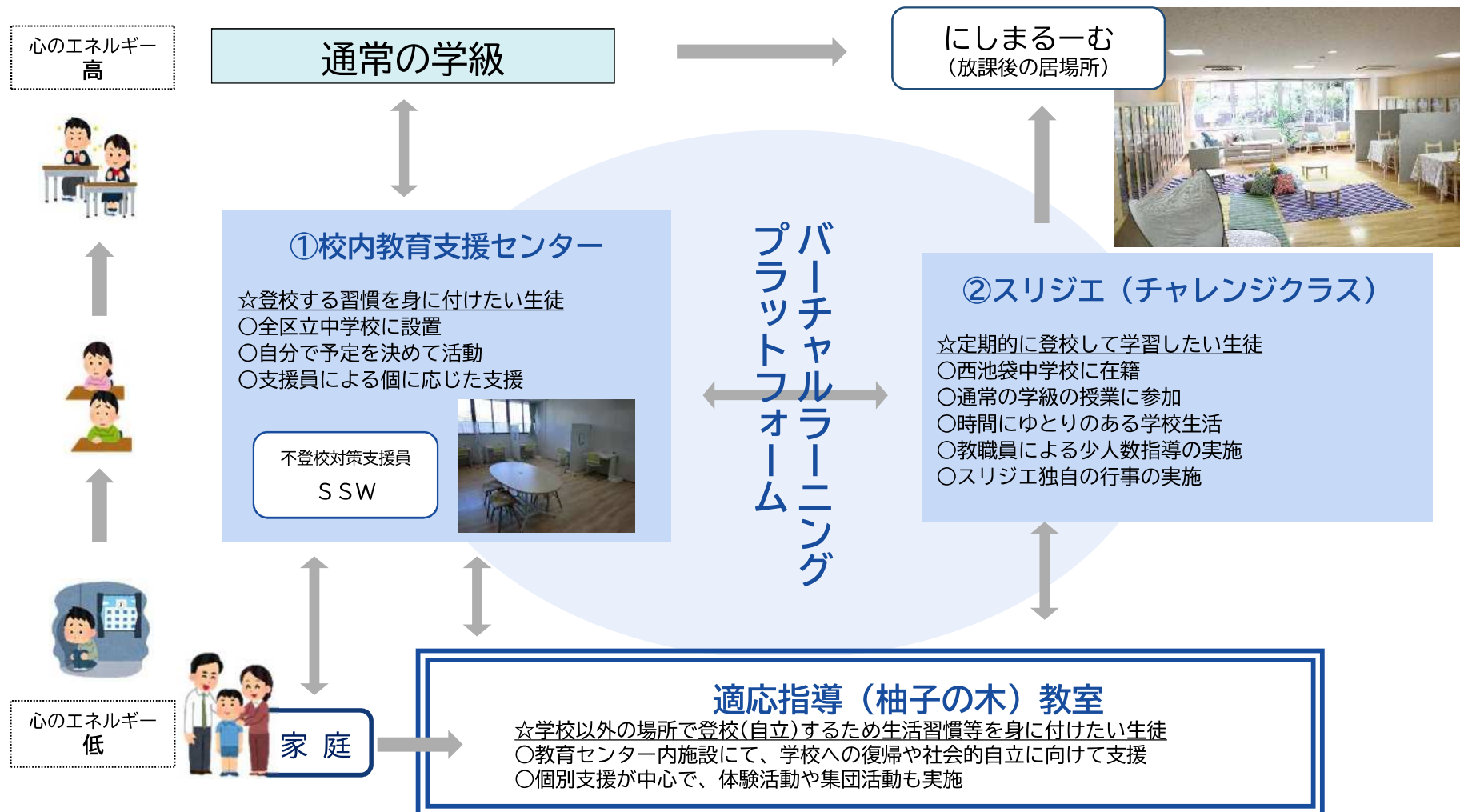
新規

支援
内容

- ・校内別室での不登校対応についての助言
- ・生徒への学習指導

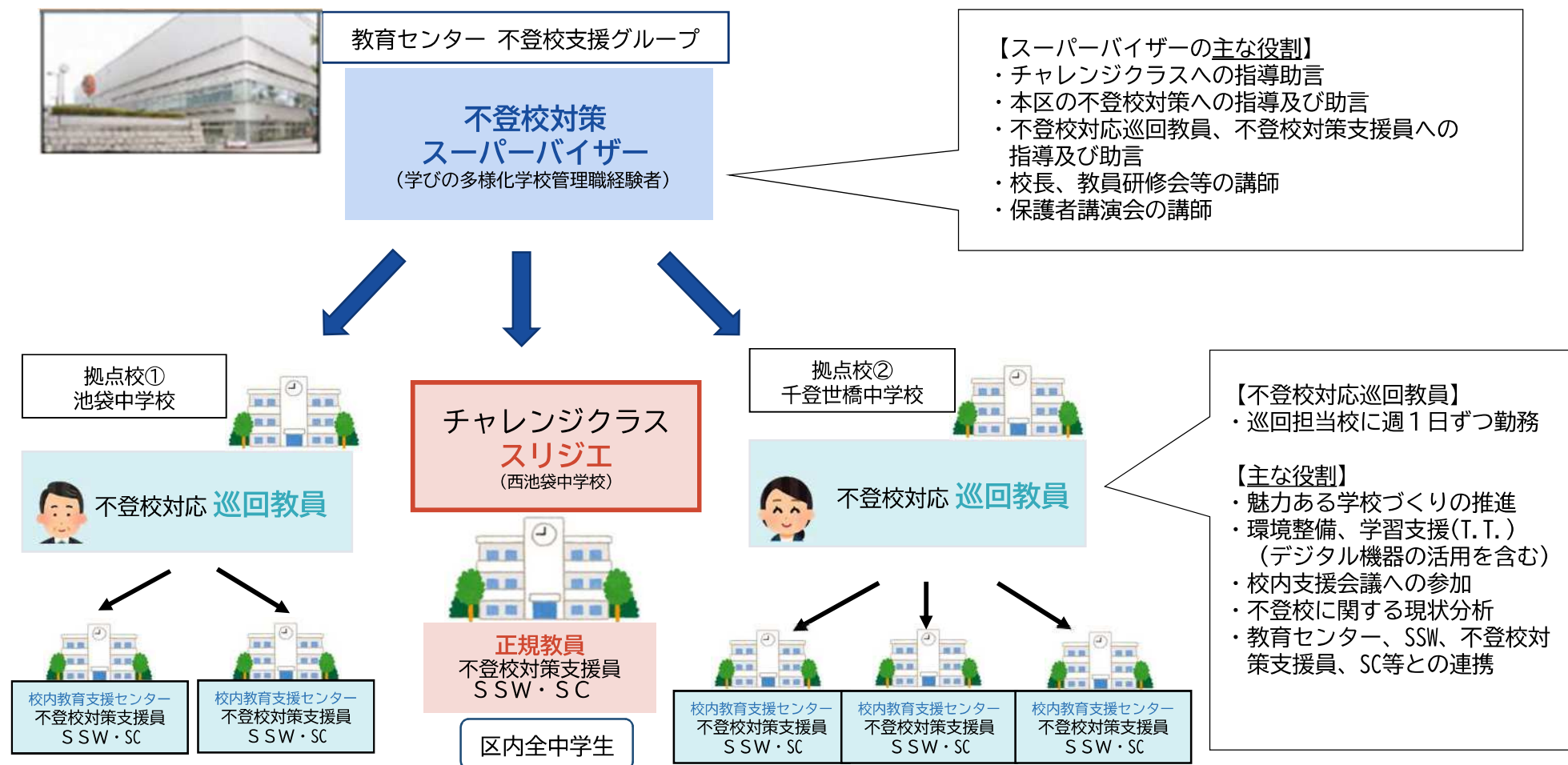
2 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち 子どもが安心して過ごせる環境づくり

不登校の子どもたちの居場所づくり



2 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち 子どもが安心して過ごせる環境づくり

不登校を支える体制づくり



2 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち 学びと成長を支える教育環境の整備

ICT環境 の整備

◆ 電子黒板の整備

新規

2,151万円

プロジェクターが配備されていない一部の学校に対して、大型提示装置にタッチパネルを装着することにより電子黒板としての機能を付加し、学習環境の改善を図ります。



デジタル 教科書

◆ 中学校指導者用 デジタル教科書導入

新規

497万円

全区立中学校にて、従来から導入している英語に加え、国語・数学・社会・理科などの指導者用デジタル教科書を導入します。これにより教員の授業準備の負担軽減へとつなげるとともに、デジタルコンテンツを用いた視覚・聴覚的なアプローチによる学習効果の更なる向上を図ります。



「電子黒板の整備」と「デジタル教科書の導入」を一体的に進め「学習環境のICT化を充実」

庶務課

学務課

◆ 学校プール遮熱対策

新規

347万円

夏期高温化による熱中症の抑止を図るため、小中学校の屋外プールに日よけ設備を整備します。

令和7年度から
3年間で
段階的に実施

2 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち 学校改築の推進

◆ 千川中学校複合施設の整備 2億9,542万円

千川中学校の改築にあわせ、西部子ども家庭支援センターと教育センターのほぼ全ての機能を複合化し、西部エリアの新しい子育て支援の拠点と地域交流が生まれる場を創出します。（令和10年9月開設予定）

年度	R7	R8	R9	R10
千川中学校 複合施設		約3年 改築		
				● 開設



◆ 朋有小学校・西巢鴨中学校校舎一体型小中連携校と総合体育場の整備 4,100万円

朋有小学校と総合体育場の敷地を一体的に活用し、現在の総合体育場側に朋有小学校・西巢鴨中学校校舎一体型小中連携校を整備します。令和7年度は小中連携校と総合体育場の整備について、考える会による検討を実施します。

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
朋有小・西巢鴨中 小中連携校												
総合体育場												
	約1年 考える会	約4年 設計			体育場 解体	約5年 工事 (小中連携校)				連携校 ● 開設 朋有小 解体	約1年 工事 (体育場)	総合体育場 ● 開設

◆ 駒込地域仮校舎の整備及び駒込中学校の改築 1億9,597万円 新規

駒込小学校の隣地を民間から定期借地し、駒込中学校、駒込小学校、仰高小学校の改築のための仮校舎を整備します。令和7年度は既存建物の解体を行い、仮校舎の整備に着手します。あわせて、駒込中学校の改築に向け、考える会による検討を開始します。

年度	R7～11		R12～16		R17～21		R22～26		R27
駒込中学校 駒込小学校 仰高小学校									
	約4年 仮校舎整備	● R11 開設	約5年 駒込中学校	● R15 開設	約5年 駒込小学校	● R20 開設	約5年 仰高小学校	● R25 開設	仮校舎 解体 用地返還

2 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち 安心して子どもを育てることができる環境づくり

◆産後ケア事業の拡充

9,797万円

産後の母子に対して、心身のケアや育児支援を助産師が行なう産後ケア事業について、新たに訪問（アウトリーチ）型を開始するとともに、宿泊型や通所型の利用可能者数を増やします。

訪問型

525人分

令和7年度
新規開始



宿泊型

275人分 ▶ 525人分

250人分増！

通所型

50人分 ▶ 350人分

300人分増！

健康推進課

◆産後ドゥーラ利用助成の拡充

1,006万円

妊娠期から産後6か月までの全世帯に、産後ドゥーラの派遣を行うため、事業者に対する人件費や事務費等を増額します。

対象

【令和6年度】
・要支援家庭
・ひとり親家庭
・多胎児家庭

【令和7年度】

全世帯が対象に

子ども家庭支援センター

区民
提案

◆保育園の連絡手段のオンライン化

新規

135万円

園と保護者のコミュニケーションツールである連絡帳をオンライン化することで、保護者の利便性向上を図るとともに、保育園業務の効率化、保育士の負担を軽減します。

円滑な
コミュニケーション

利便性
向上



※イメージ図



情報
共有



保育課

2 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち 子ども・若者の居場所づくり

孤立を防ぐ

◆ 子ども・若者の居場所づくり

新規

663万円

家庭や学校、職場といった生活の中で「自分の居場所を見い出せない」と悩む子どもや若者が安心して過ごせる居場所を創出します。

◆ 児童養護施設等の誘致

92万円

新規

～児童養護施設の目指す姿～

里親と里親委託児童の支援機能を持ち
地域における施設養護や家庭支援ニーズに対応可能な
多機能型児童養護施設

事業者ヒアリングや候補地検討等
区内への誘致に向けて調査を行います



誘致に向け、調査開始

子育て支援課

1

子どもの居場所づくり



令和7年度
1か所予定

事業者等詳細は今後決定

子どもの居場所づくりの重要な担い手である
地域団体に対し、運営にかかる経費を補助します

事業者を支援し食事の提供や学習支援の場を創出

2

若者の居場所づくり



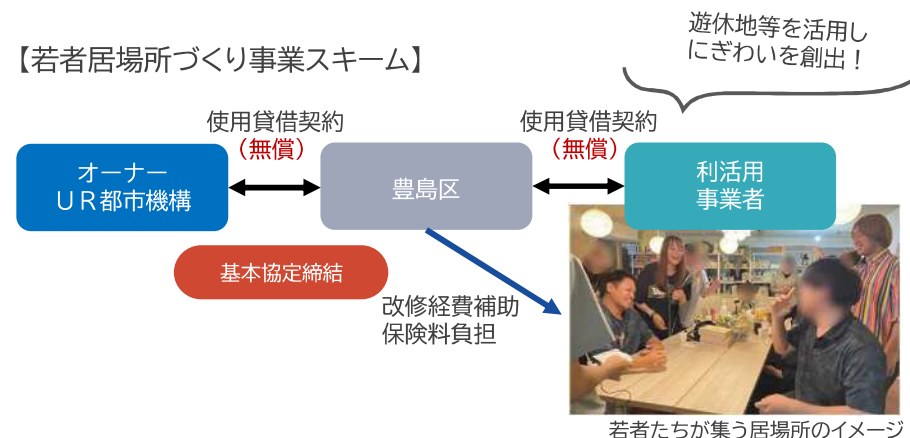
令和7年度
2か所予定

事業者等詳細は今後決定

URが区に無償貸付する遊休地を活用して若
者の自立や社会参加に資する事業（若者の居
場所等）に対し補助を実施します

まちづくりを進めるURと連携し若者の居場所を創出

【若者居場所づくり事業スキーム】



若者たちが集う居場所のイメージ

子ども若者課

2 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち ファミリー世帯の定住化支援

◆ 多世代近居・同居のための費用等助成

新規

600万円

親世帯との近居または同居のために転入・転居する子育て世帯に対し、住宅取得や賃貸、引越しにかかる初期費用を助成します。



対象者：区内に居住する親世帯と近居
または同居する子育て世帯
※子育て世帯は、義務教育終了前の
子を養育する世帯



助成額：最大20万円

所得制限なし！

同居

親世帯・子世帯が支え合える
安心の住環境を

近居



子育て世帯の定住支援と高齢者世帯の孤立防止を両立

◆ 子育てファミリー世帯家賃助成の拡充

4,597万円

助成制度の内容を見直し、所得要件の緩和、
家賃上限の引き上げ、助成額の増額等を変更します。

国籍要件撤廃！



対象者：以下のどちらかにあてはまる世帯
① 区内に引き続き1年以上居住し、扶養している
15歳以下の子どもがいる転居した世帯
② 多世代近居・同居支援事業を利用して
区外から転入した世帯



期 間：5年間もしくは
子が15歳に達した年度末（どちらか早い方）

主な拡充

所得要件	26万8千円/月	➔ 33万8千円/月 以下
家賃上限	15万円/月	➔ 17万円/月 以下
助成額	▶3年目まで 2万5千円/月 ▶4年目～ 1万2,500円/月	➔ 3万円定額

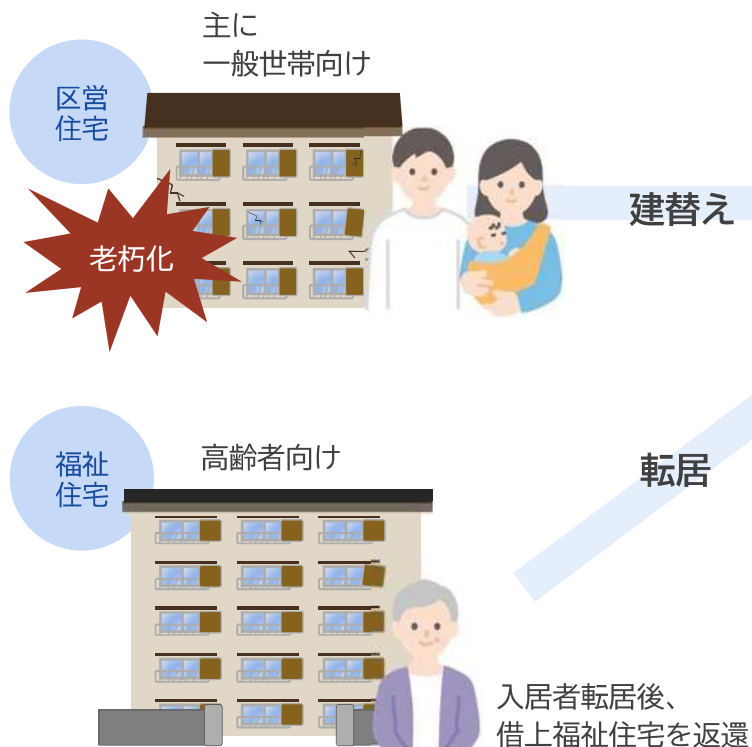
要件緩和で
より多くの方の申請が可能に

2 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち 建替えを契機とした新たな区営住宅の整備

区営住宅等の再整備

長期的な財政負担を考慮したうえで、老朽化した区営住宅を建替え、単身の高齢者や若者、子育て世帯などのニーズに対応した区営住宅を供給するとともに、あわせて見守りなどこれまでの福祉住宅に代わる新たな福祉サービスの提供も可能とする。

⇒多様な世代・世帯の方の交流機会を創出する。



バリアフリー化され、多様な世代・世帯が交流する 新たな公営住宅



- ・多様な世帯構成に対応した住戸の供給
- ・見守りなど福祉サービスの提供も可能

再整備対象

区営住宅	千早四丁目アパート2号棟（15戸） 千川二丁目アパート（15戸） 要町三丁目アパート（15戸）
福祉住宅	区内の借り上げ福祉住宅3団地

スケジュール（予定）

令和7年度プロポーザル実施、事業者決定

令和8年度 工事開始

3 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち 地域医療体制の充実

◆ 池袋保健所の本移転

65億1,485万円

令和7年度末に竣工予定の南池袋二丁目C地区の再開発ビルへの保健所本移転に向け、保留床を購入します。

令和8年5月
開設予定



- ✓気軽に健康チェック、健康相談ができるように**保健師等が対応**
- ✓池袋休日診療所やあぜりあ歯科診療所・池袋あうる薬局も併せて移転

移転先



◆ 在宅医療・介護連携の推進

1,092万円

医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護師会（4師会）などと連携した在宅医療の取り組みも引き続き実施します。

【主な取り組み】

在宅医療相談窓口、歯科相談窓口の設置

- ✓専門知識を持った相談員が相談を受付
- ✓本人や家族、ケアマネジャー等からの相談に応じて関係機関を紹介・調整



多職種ネットワークの構築

- ✓地域単位で医療・介護従事者による研修会等を実施
- ✓多職種でICTを活用した情報共有

急変時における後方支援病床の確保

- ✓自宅での急変時に一時入院できる病床を確保



多職種連携で
在宅医療を進めています！

◆ 高齢者の服薬相談及び残薬整理相談 398万円

新規

複数の処方薬を服用している高齢者などに対して、訪問相談等を実施し、薬剤師との相談機会を拡充します。

薬剤師会と連携し、今後も幅広い年齢層への服薬相談の機会を増やします！



3 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち こころと体の健康づくり



ワクチン接種の費用助成事業一覧

事業名	対象	助成額	事業費
◆おたふくかぜワクチン2回目 任意予防接種一部助成 区独自	・小学校入学前1年間	3,000円	1,948万円
◆小児インフルエンザ 任意予防接種一部助成 区独自	・生後6か月～中学3年生	生後6か月～13歳未満 2,000円×2回 13歳～中学3年生 2,000円×1回	5,679万円
◆带状疱疹ワクチン 任意予防接種一部助成 区独自	・50歳以上で、带状疱疹ワクチン 定期接種の対象外の方	接種費用の半額程度 生ワクチン 5,000円×1回 不活化ワクチン 11,000円×2回	6,158万円
◆新型コロナウイルスワクチン 定期予防接種助成	・65歳以上の方、60歳～64歳 で、特定の基礎疾患のある方	自己負担額が3,500円になるよう助成予定	3億7,722万円
◆子宮頸がんワクチン キャッチアップ接種 延長対象者助成	・キャッチアップ接種期間中（令和 4年4月1日～令和7年3月31 日）に接種を開始した平成9年4 月2日～平成21年4月1日生ま れの方	全3回接種のうち、残りの回数分の接種費用	3,589万円

保健予防課

◆コワーキングスペース設置運営と 区民の健康増進

新規

990万円

株式会社タニタがとしまエコミューゼタウン2Fに健康食堂を出店します。
当該食堂は10時～14時に使用するため、それ以外の時間帯を区がコワーキングス
ペースとして有効活用します。併せて、健康セミナー等のイベントを開催し、健康
増進を図ります。

財産運用課

4 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち 特色あるスポーツ機会の充実

◆ 高校生相当までのスポーツ施設利用料の無料化 500万円

子どもの体力向上などに不可欠なスポーツ環境の構築を目的に、高校生相当までの区民に対し、スポーツ施設の利用料の無料化を行っています。
これに伴い、指定管理者に対して利用料収入の減収補填を行います。

◆ スポーツ施設の無料開放（子どもの居場所・遊び場） 165万円

子どもが気軽に運動できるスポーツ環境を望む声が多く、子どもがスポーツを楽しめる居場所・遊び場づくりの一環として、スポーツ施設の無料開放を実施します。



こんなにある！

多彩なスポーツ体験

子どもがスポーツを通じて心身ともに健康な生活を送ることを目的に、トップアスリートと交流できるイベントなど、多彩なスポーツ体験を提供しています。

令和6年度実績

トップアスリート交流イベント

直接指導、交流による技術力向上・夢を描く機会を創出します

- ✓ トップアスリートによる小学生サッカークリニック
- ✓ 元メジャーリーガー・岩隈久志トークショー
- ✓ ヤクルトスワローズOBから学ぶ野球教室 など



未利用地を活用したスポーツ体験

未利用地を活用し子どもが体を動かせる機会を提供します

- ✓ エリース東京FC（現エリース豊島FC）とのサッカーイベント

4 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち 文化芸術への参加・創造の機会を提供



多彩な文化活動で 次世代を担う子どもたちを全力応援！



子どもや若者、障がいのある方、外国人、ひとり親家庭の方など世代や障がいの有無、国籍を問わず、誰もが文化芸術を身近に感じ、体験・育成・応援できる取り組みを実施します。

としま文化応援団（仮称）

としま未来文化財団の自主事業。
区民等に参加を呼びかけ、子ども若者の文化体験を応援していきます！

◆ としま文化の日の推進

400万円

日常でもアート・カルチャーに触れられるイベントを行うことで、まちの魅力を発信しにぎわいを創出します。

PICK UP!

としまっ子フェス

～地域と連携し、子どもたちに
多彩な文化体験を提供～



2024年開催の様子

◆ 音楽によるまちづくり推進

800万円

区内施設や公園・路上で音楽パフォーマンスを行うことで、若手アーティストへ音楽活動の場所を提供しつつ、まちのにぎわいを創出します。

PICK UP!

としま ミュージックサークル

～音楽があふれるまち・豊島区！～



文化デザイン課

◆ 上池袋図書館の長寿命化改修 13億2,744万円

上池袋図書館の長寿命化に対応するための改修工事を行います。
(令和8年6月リニューアルオープン予定)

◆ 千早図書館の改築 1億5,797万円

千早図書館の改築に向けた設計を行います。
(令和10年4月開設予定)

5 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち まちのプロモーションの推進

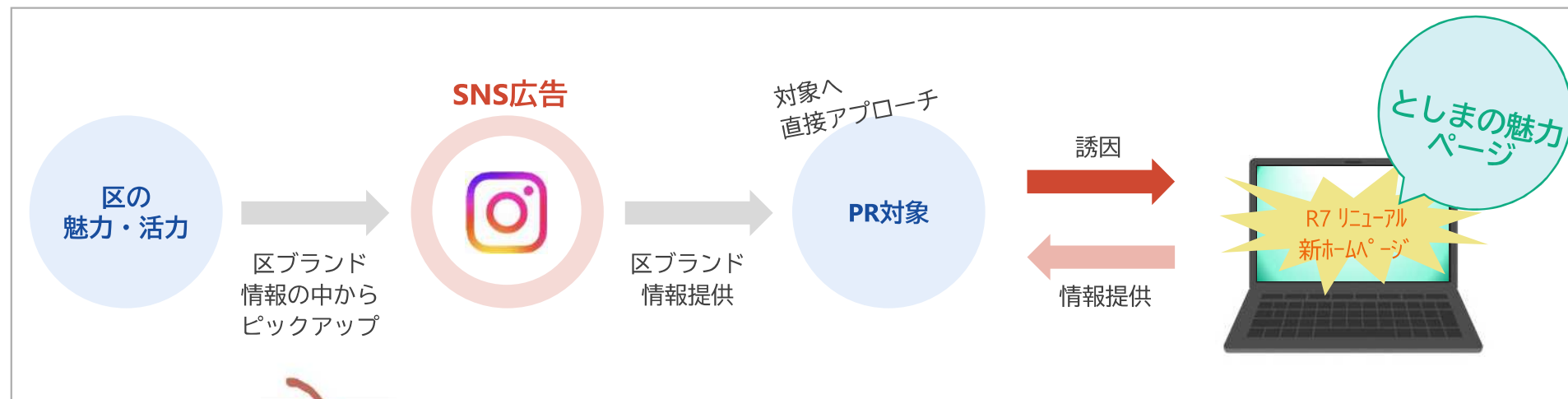
◆ 区の魅力・活力のPR推進

944万円

SNS（インスタグラム）を中心としたPR広告発信により、区のホームページ内に新設する「としまの魅力ページ」へ新規訪問者を誘引し、豊島区のイメージ・認知度向上につなげます。

まちの魅力を
区内外に強く発信！

マンガ
アニメ
トシマ



5 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち 持続可能な商店街の活性化と中小企業支援

あきんど

◆ 商人まつりへの補助 2,145万円

「商人まつり」の開催にかかる費用に対する補助を行います。

◆ 商店街プレミアム付地域商品券補助 5,100万円

商店街が行うプレミアム付地域商品券事業にかかる費用に対する補助を行います。



◆ 商店街街路灯補修補助 180万円

商店街が街路灯補修を行う経費に対し補助を行います。

新規

◆ 空き店舗活性支援 1,094万円

区内の空き店舗を活用して開業を希望する事業者に対し、店舗改修費および店舗賃借料の一部を補助します。また不動産等の知識や地域特性を理解したコーディネーターを設置することで、地域との顔つなぎや開店準備から開業に至るまでの伴走支援を行います。



令和6年度は
3店舗オープン！

◆ 銭湯利用の促進 450万円

区民の入浴機会の提供および健康増進・住民相互の交流促進等の場としての銭湯利用の促進に加え、来年から恒例の季節湯の際に若い世代に銭湯文化の体験機会を提供することを目的に、新たに中学生相当の入浴料金を割引します。

NEW

対象者：12歳から18歳の
区内在住・在学の児童
(中学生)

利用料： 現行 550円
→ 200円で利用可能
(年4回まで)



巣鴨湯

◆ 中小企業支援 3,750万円

区内の中小企業・個人事業主を対象に、販路開拓・拡大、デジタル化推進、専門家活用、人材育成にかかった経費の一部を補助します。

ビジネスサポート
での支援を強化！

	開業支援	経営安定	コラボチャレンジ
限度額	20万円	15万円	20万円
補助率	2/3	1/2	1/2
メニュー種類	販路開拓・拡大、デジタル化推進、専門家活用・人材育成(経営安定のみ)		企画、開発、販売経費

6 共につくる地球にも人にもやさしいまち 良好な生活環境の保全

◆ 民間事業者等による公衆喫煙所設置等への助成

1,040万円

ポイ捨て防止によるまちの美化向上、及びたばこの煙による健康被害への対策のために、一般利用可能な公衆喫煙所を民間事業者等が設置できるよう、設置経費及び維持管理経費の助成を行います。

○ 助成制度の概要

設置工事関係経費	上限 800万円／年
維持管理経費	上限 60万円／年（5年間継続）

◆ コンテナ型公衆喫煙所の整備

新規

1,737万円

現在、区営の喫煙所は2か所。池袋駅周辺に区営のコンテナ型喫煙所を新たに設置することにより、路上喫煙やポイ捨て、受動喫煙を防止します。

区指定喫煙所設置状況

区営
[既存]

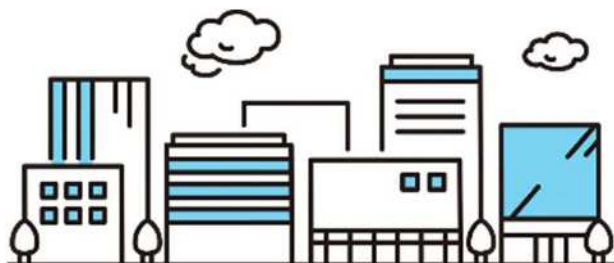
- 1 池袋駅東口喫煙所
- 2 池袋駅北口喫煙所

民間
[助成金活用]

- 3 THE TOBACCO IKEBUKURO
- 4 ファミリーマート立教通り店

まちの美化向上

健康被害への対策



設置喫煙所イメージ

受動喫煙対策に効果的な
コンテナ型を設置予定



ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組み



◆ 小・中学校等における再生可能エネルギー電力の導入 2億6,933万円

ゼロカーボンシティの実現に向け、区の環境配慮率先行動の一環として温室効果ガス削減を推進するため、令和8年度までにすべての区立小中学校について実質再生可能エネルギー100%の電力に切り替えます。

◆ エコ住宅・エコ事業者普及促進 3,272万円

家庭や中小規模事業者のCO₂削減を図るため、省エネ効果の高い機器・設備等の設置に関する費用の一部を助成します。
一般住宅では、太陽光発電・蓄電システムや断熱改修窓など、8つのメニューにより充実を図っています。

◆ 環境教育・啓発

416万円

子どもから大人までを対象にした体験型の講座の実施、エコライフフェア等のイベントの実施を通じ、広く環境意識の啓発を図ります。
小中学生向けの環境教育支援プログラムでは、民間企業のそれぞれの強みを活かした実験・実習を交えた特色ある授業を行います。

令和6年度実績

環境教育支援プログラム 50回実施



◆ 自治体間連携によるカーボン・オフセット事業、 交流都市からの再生可能エネルギーの調達

1,117万円

区が連携先自治体において森林整備を行い、CO₂吸収量を増加させ、カーボン・オフセットを図ります。

連携先自治体における自然体験を伴う環境交流事業を実施し、区民への環境教育を推進します。

7 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち ウォーカブルなまちづくりの推進

Walkable



池袋駅周辺地域の再生

東西自由通路（北デッキ）

・北デッキ実現に向けた検討



池袋駅西口地区〔市街地再開発事業〕

・2024.11 都市計画決定



西池袋一丁目地区 〔市街地再開発事業〕

・2018.3月 準備組合設立

東池袋一丁目地区 〔市街地再開発事業〕

・2028年度竣工予定



中池袋公園賑わい創出 (Hareza池袋エリアマネジメント)

・官民連携による地域活性化



東口駅前再編（クルドサック化）

・東口駅前再編整備計画の検討



IT tower TOKYO〔総合設計〕

・2025.11月 竣工予定

池袋駅東口地区

・池袋駅東口地区まちづくり協議会の運営支援

南池袋二丁目28番街区地区 〔市街地再開発事業〕

・2021.12月 準備組合設立

グリーン大通り賑わい創出



公民連携による
地域活性化

南池袋二丁目C地区

〔市街地再開発事業〕北棟2025年度竣工予定



豊島区役所側 ⇄ 再開発エリア 〔横断歩道橋整備〕

環状5の1号線整備と民間再開発が
連携して進める歩道橋整備

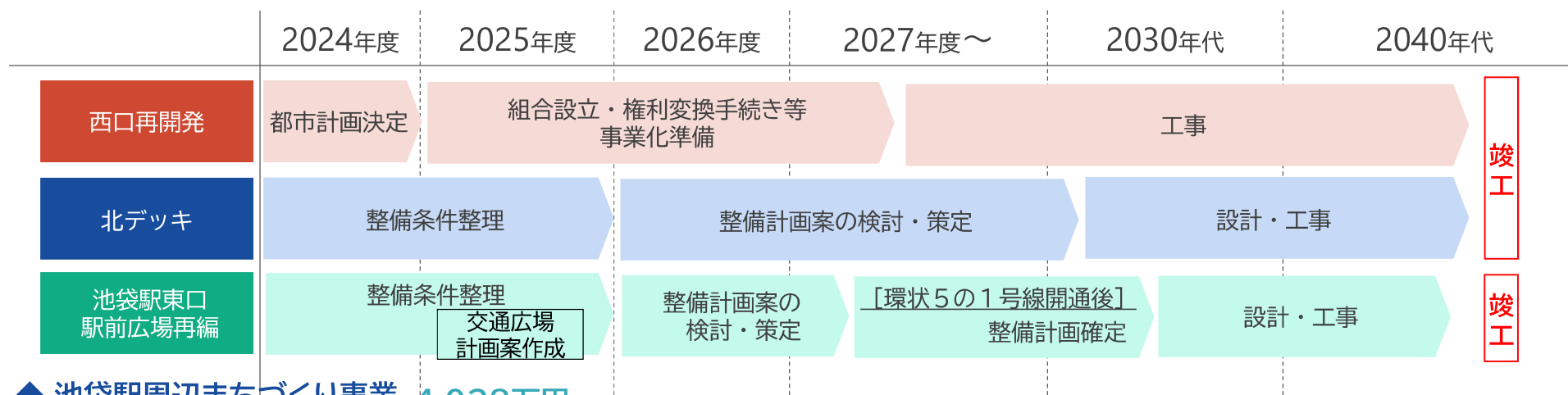
7 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち ウォーカブルなまちづくりの推進

Walkable



池袋駅周辺地域の再生

池袋駅西口地区市街地再開発事業の都市計画決定を踏まえ、さらに駅の再生を推進



◆ 池袋駅周辺まちづくり事業 4,028万円

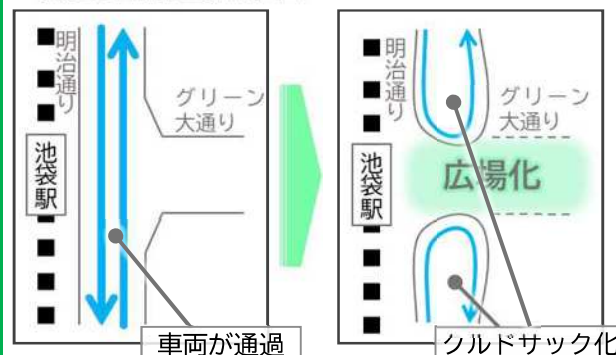
東西自由通路（北デッキ）

- ・北デッキ実現に向けた整備条件整理



東口駅前再編（クルドサック化）

- ・交通広場計画案(位置・形状・規模など)作成



池袋駅東口地区

- ・まちづくり協議会の運営支援



7 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち 魅力あふれる公園づくり

◆ 公園等の再構築 976万円

新規

各公園の用途に特色をつけ、特徴のある公園づくりを目指します。モデル地区を設定し、ヒアリングやワークショップを行い、「公園等再構築プラン（仮）」を策定、魅力あふれる空間づくりを進めます。

モデル地区

高松 要町 千川

高田

巣鴨 西巣鴨

「公園等再構築プラン（仮）」策定スケジュール

令和6年度

令和7年度

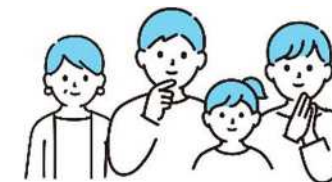
1～2月	進行中	4～9月	9～12月	1月～
利用状況を把握 3つのモデル地区で町会、公園利用者、各種団体などへのヒアリングやSNSを通じて利用状況を把握		公園の特色を決める ヒアリング等で得られた課題や解決方法、公園の活用について、ワークショップでブラッシュアップ		公園の機能を決める ワークショップの成果をもとに「公園等再構築プラン（案）」の策定を進める
		公園の機能を決める ワークショップの成果をもとに「公園等再構築プラン（案）」の策定を進める		プラン策定 モデル地区の「公園等再構築プラン」を策定。 公園改修や公園活用を推進

ideas

緑・自然に親しむ
遊ぶ
憩える
くつろぐ
緑・自然に親しむ
健康づくりを楽しむ

ideas

公園アドバイザーや様々な世代の公園利用者に意見を伺い、公園の在り方について検討を進めます！



モデル地区の
「公園等再構築プラン（仮）」
をもとに、全体の再構築プランを
策定、展開していく



◆ 第三次豊島区自転車等の利用と駐輪に関する総合計画の策定 2,503万円

第三次「豊島区自転車等の利用と駐輪に関する総合計画（R8～R17）」を策定し、交通安全の啓発活動を中心とした交通安全対策、新たな放置自転車対策、駐輪場のあり方について、区民ニーズと環境変化を踏まえた中長期的なビジョンを示します。

新たな道路交通環境の変化の視点を盛り込みます！

1 自転車の安全利用

- 昨今の道路交通法改正に即した交通安全対策の推進
- ヘルメット購入費用の一部補助

2 放置自転車対策

- 短時間放置対策の推進
- 民間施設と連携を図り推進

3 駐輪場整備の推進

- 老朽化や自転車の大型化対応
- 民間の創意工夫を活かして推進

4 自転車利活用の推進

- 自転車走行環境の整備
- 健康と快適な日常生活のため、自転車活用の促進

● スケジュール（予定）

令和7年2月
「自転車等駐車対策協議会」への諮問

令和8年1月
パブリックコメントの実施

令和8年3月
第三次総合計画の策定

歩行者と自転車利用者が、安全で快適に移動できるまちへ



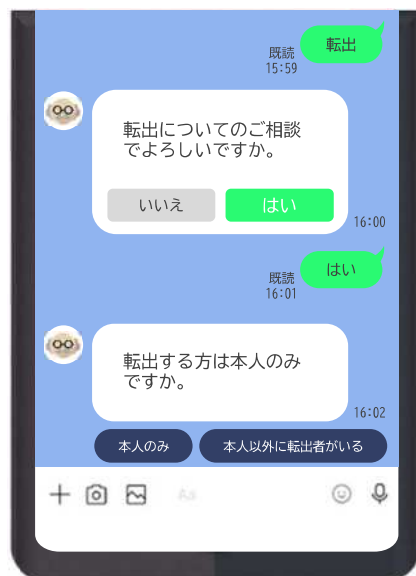
区民
提案

◆ LINE を活用したオンライン申請等 プラットフォームの導入

新規

469万円

LINEを活用したオンライン申請等のプラットフォームを導入します。利用者の希望や属性に応じた情報をプッシュ型で案内し、必要な届け出や給付金等の申請がその案内からオンラインでダイレクトに行える環境を整備します。



事前登録情報をもとに、
利用者にあった区政情報を
プッシュ型で配信

チャット形式のやり取りにこ
たえるだけで、申請・届出に
必要な情報が作成される

そのままLINEで情報を送信！

申請完了！

オンライン申請を普及させることで
区民サービス向上と、窓口事務省力化を実現！

将来的には /

こんな活用方法も検討していきます



区民アンケート

対象者に対しダイレクトに
アンケートを実施

検診・健診予約

対象者への案内や、
前日にリマインダーを配信

不具合報告

道路などの破損を
区民が写真投稿等で報告

◆ 議会映像ライブ配信の拡大

639万円

本会議に加え、4つの常任委員会及び豊島副都心開発調査特別委員会についてもライブ中継映像を配信します。

((())) LIVE



追加となる
ライブ配信対象の議会

- ・ 4つの常任委員会
(総務・区民厚生・都市整備・子ども文教)
- ・ 豊島副都心開発調査特別委員会

開かれた議会の更なる推進！



令和7年度（2025年度）
豊島区
当初予算案プレス発表

政策経営部広報課 03-4566-2533

